

(仮称)当別町道の駅 実施設計 計画概要・施設配置図

目的

道の駅を「当別の将来を変える起爆剤」として位置づけ、

- ・多くの人をまちに呼び込み、
 - ・農村と都市の交流人口の拡大、
 - ・農産物販売を通じた農業の振興、
 - ・町内での購買の促進
- を通じて、経済活動の活発化につなげる。

計画概要

(1)所在地

石狩郡当別町当別太774-1、774-3、774-4、774-5

(2)敷地面積

24,501㎡

(3)用途地域

都市計画区域内(非線引地域)
用途地域指定なし

(4)周囲の状況

国道337号と町道川下右岸線(17線)
交差点の南西角地

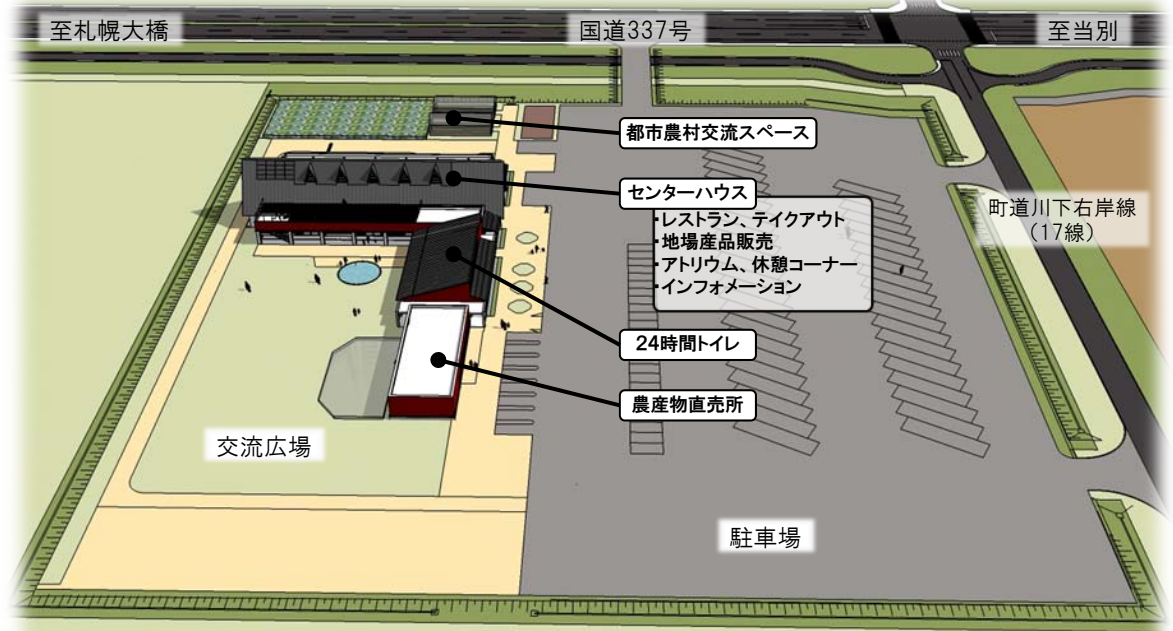
(5)概算工事費

1,044,051,000円
(うち建築費、864,359,000円)

(6)建設工程

平成27年度 実施設計、用地取得
平成28年度 本体工事
平成29年度 開業準備、供用開始
(平成29年9月予定)

施設配置図



施設配置イメージ



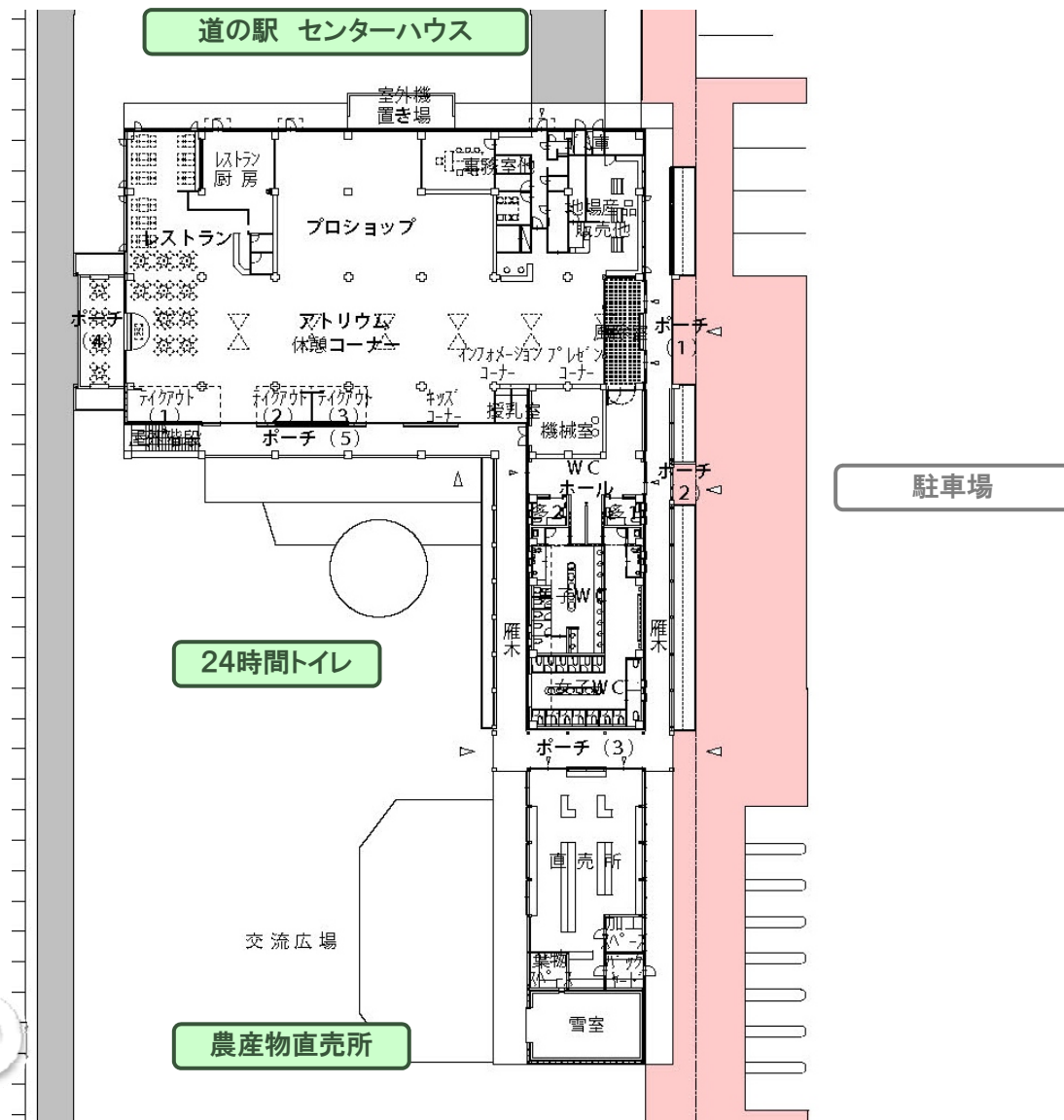
外観イメージ図



内観イメージ図

(仮称)当別町道の駅 実施設計 計画平面図・施設規模想定

▶ 計画平面図



▶ 施設規模想定

項目	施設規模
①24時間トイレ	229 m ²
②情報コーナー	15 m ²
③アトリウム・休憩コーナー	394 m ²
④レストラン	146 m ²
⑤テイクアウト	50 m ²
⑥地場産品販売	77 m ²
⑦プロショップ	186 m ²
⑧事務所他	79 m ²
⑨通路等	104 m ²
道の駅本体小計	1,280 m²
⑩農産物直売所	170 m ²
⑪雁木、ポーチなど	277 m ²
⑫雪室	57 m ²
⑬ビニールハウス	200 m ²
建築施設小計	704 m²
⑭交流広場	3396 m ²
⑮フラワーガーデン	690 m ²
⑯都市農村交流スペース	314 m ²
その他	4,575 m ²
外構小計	8,975 m²
駐車場	13,542 m²
合計 (本体+建築施設+外構+駐車場)	24,501 m²